

第352回NRIメディアフォーラム

# 生活者アンケートから見た 日本の医療の課題と解決方向性の考察

－「バリューベース・ヘルスケア」が変える日本の健康・医療－

---

株式会社野村総合研究所

コンサルティング事業本部

ヘルスケア・サービスコンサルティング部

2023年1月

**NRI**

*Share the Next Values!*



**01** 見通しの厳しさ

**02** 生活者アンケートから見る日本の医療課題

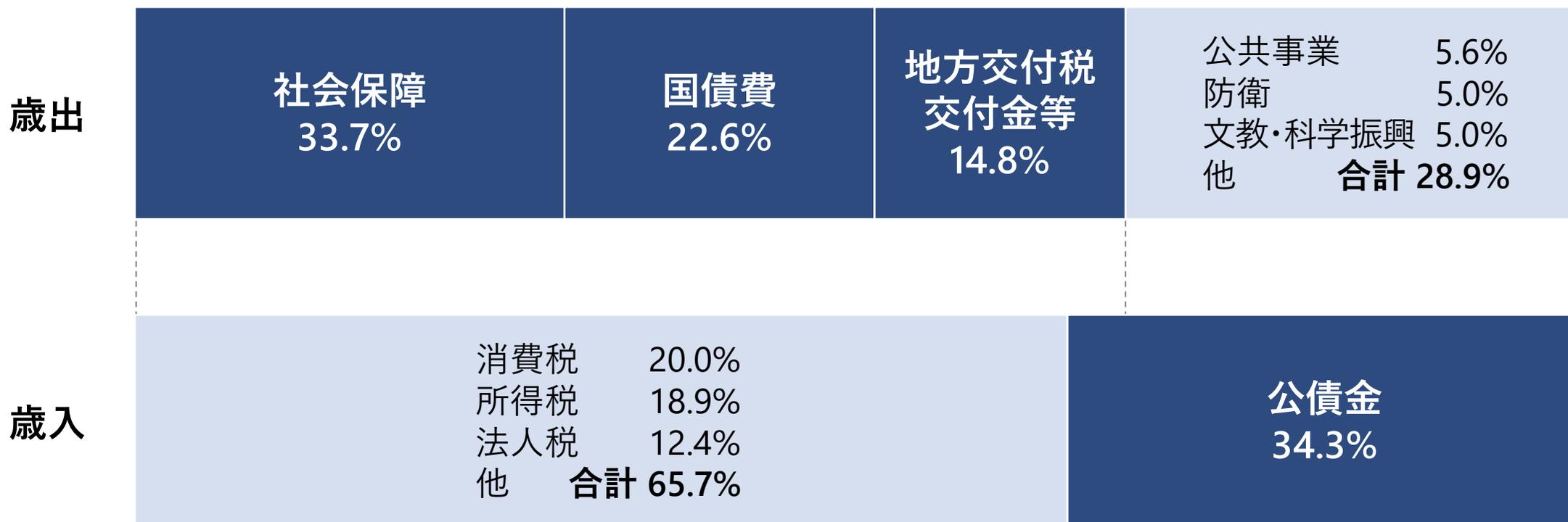
**03** 解決の方向性

**04** ステークホルダー協働による解決を目指して

# 社会保障、国債費、地方交付税が、歳出の7割を占める日本の現状

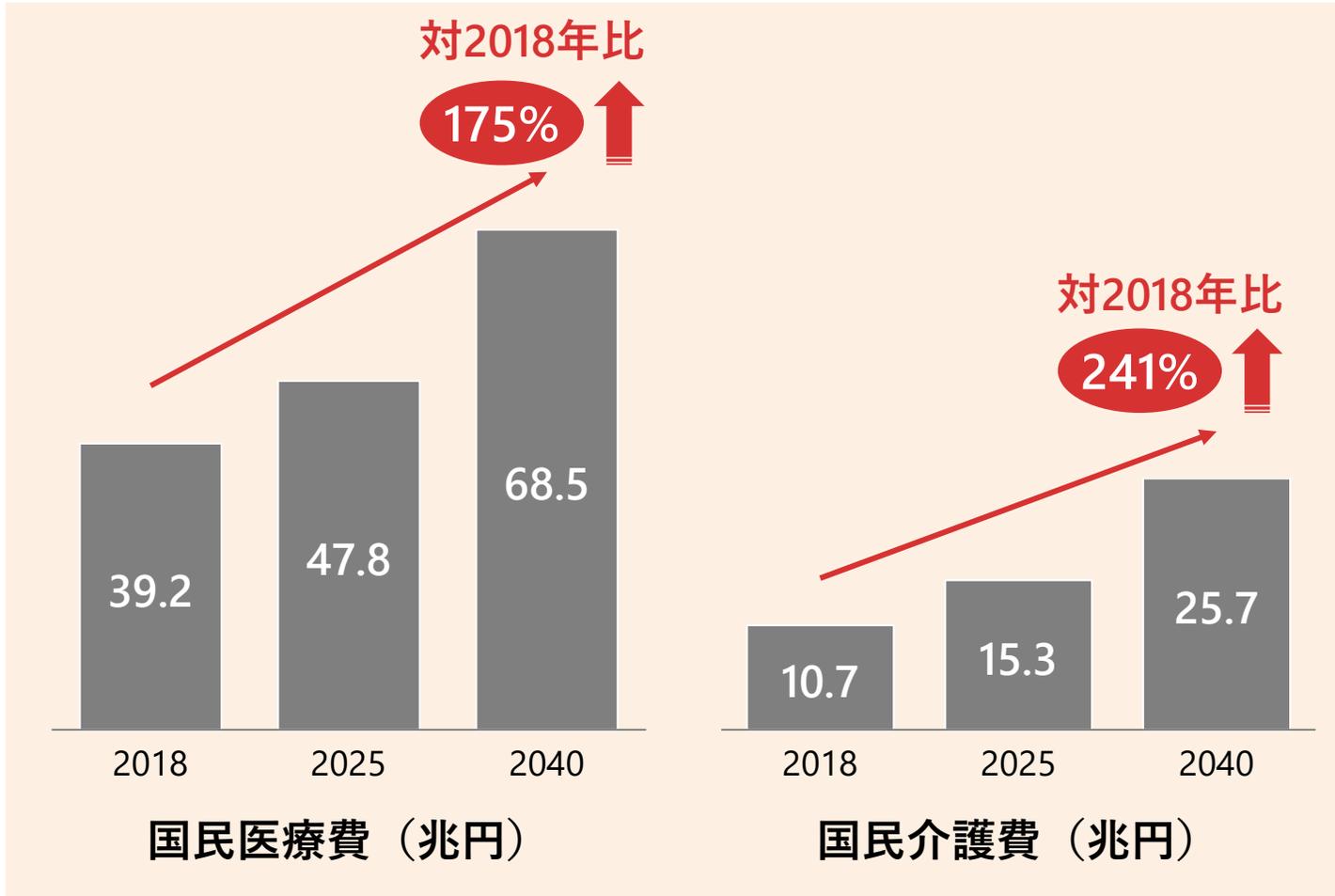
## 日本の2022年度予算

総額107.6兆円

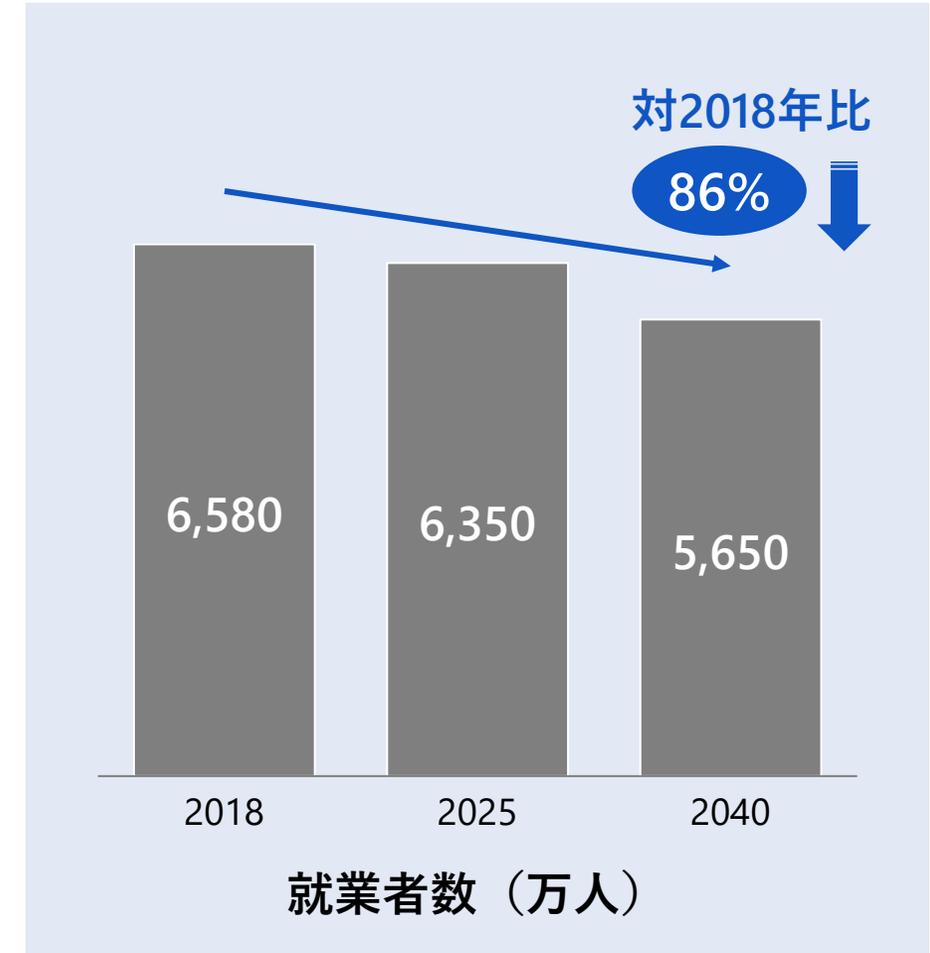


# 国民医療費と国民介護費は大きく拡大し、働き手は縮小する未来

## 医療費と介護費の推移



## 就業者数の推移



# 日本の医療システムの「良い点」を維持していくことが困難になっていく

## これまでの医療システムの「良い点」

コスト	<ul style="list-style-type: none"><li>低い保険料率、1～3割という低い窓口負担</li></ul>
クオリティ	<ul style="list-style-type: none"><li>世界トップクラスの長寿を実現</li></ul>
アクセス	<ul style="list-style-type: none"><li>いつでもこの医療機関にかかってもよい</li><li>待ち時間は諸外国と比べて短い</li></ul>

## 需給バランスの悪化による悲観的な未来

### 医療費の負担増

- 保険料率の上昇、患者負担の増加
- 税による徴収の増加

### 医療の質の低下

- 最新の医療技術が保険に収載されなくなる
- 償還価格が低額になることで、技術開発が遅滞

### アクセスの自由度の低下

- 患者数をコントロールするための自由なアクセスの禁止
- 保険の範囲がせばまり、治療を受けられない人が増加

見通しの厳しさ

# 医療費の適正化に向けて、国は課題を設定し取り組む必要がある

## 医療費適正化に向けた課題設定

医療費が支払われるまでの流れ



## 医療費の適正化に向けた課題設定の方向性

健康増進・予防  
活動に注力する

医療機関への  
アクセスを適正化する

診療行為の  
費用対効果を高める

保険料を含めた  
患者負担を増やす

01 見通しの厳しさ

02 生活者アンケートから見る日本の医療課題

03 解決の方向性

04 ステークホルダー協働による解決を目指して

# 医療費適正化に向けた課題設定に関する生活者の認識を調査

## アンケート概要

- 日本の「医療」に関するアンケート
- サンプル数：5,000名
- 基本セグメンテーション：
  - 年代別（20-34/35-49/50-64/65-）
  - 性別（男/女）
  - 居住地（人口10万人以上都市/それ以外）
  - 医療への関与度（受診頻度、がんを含む慢性疾患罹患履歴、手術経験の有無から、高い/低い）
- その他属性情報
  - 世帯年収、加入する公的医療保険制度、民間の医療保険の加入状況、家族の手術・介護経験
- 設問数：全40問弱程度
- 回答形式：インターネット回答
- 回答期間：2022/8/25-2022/8/27
- 集計方法：性年代でウェイトバック処理

## 医療費適正化に向けた課題設定に関する生活者の認識を調査する設問例

### 保険料を含めた患者負担を増やす

- 個人負担が1.5-2倍になる可能性を考えたとき、日本が抱える医療費の問題について、早急に解決に取り組むべきと感じますか？

### 診療行為の費用対効果を高める

- これまで医療機関で医師から検査/診断、治療を受けてきた中で、『診療の質』に満足していますか？
- 医療費の現状、問題を鑑みたときに、今後のご自身の、医療機関における『検査』『治療』を受ける際の姿勢は？
- 同じ疾患について検査/診断、治療を受ける場合でも、医療機関や医師によって、診療の質にばらつきがあると思いますか？
- 医療費の現状、問題を鑑みたときに、診療の質を高めるために、医師だけでなく患者もいまよりもっと医療に関与すべきであると思いますか？

### 医療機関へのアクセスを適正化する

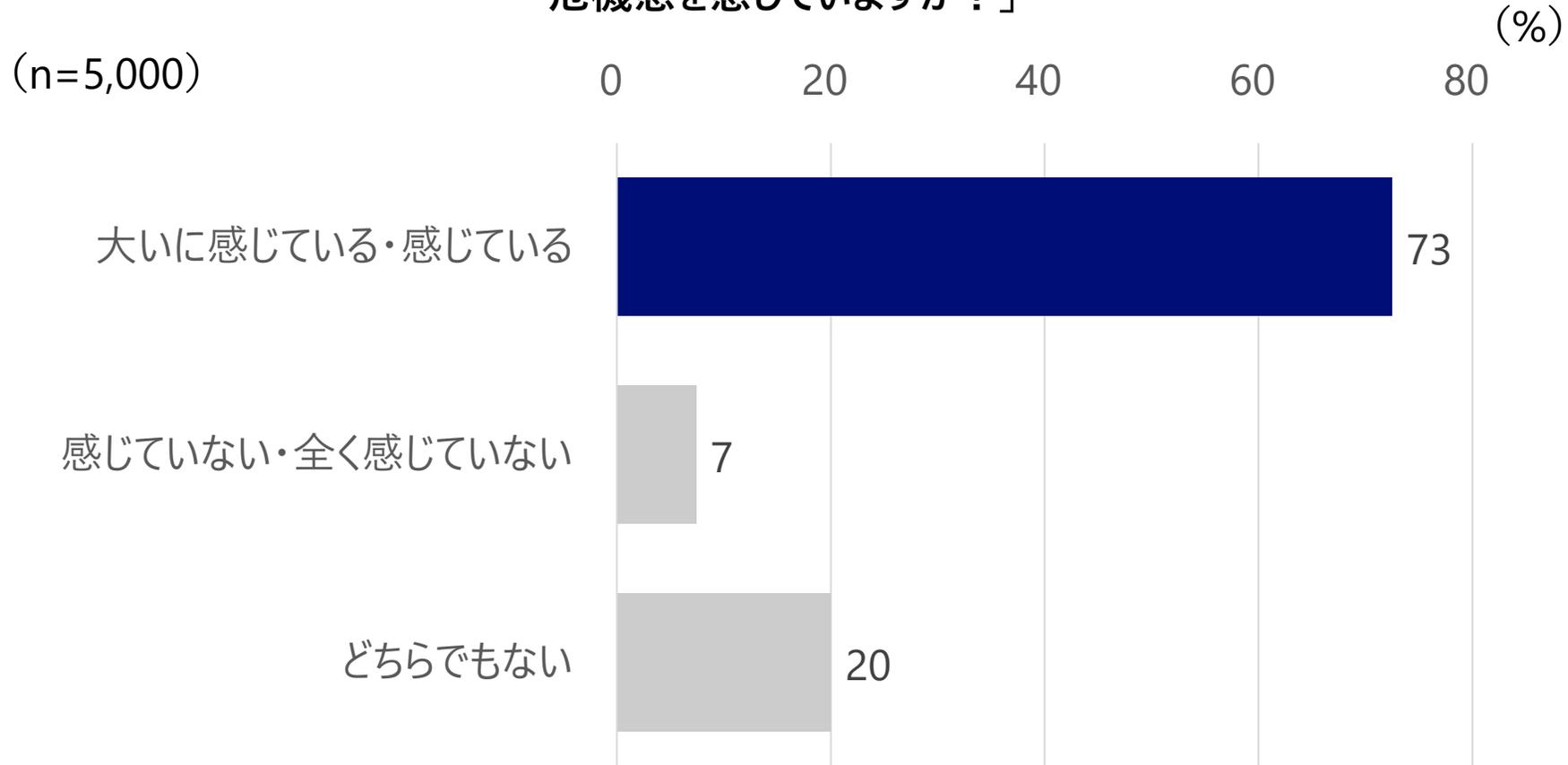
- 医療機関を受診しようとする際に、十分な選択肢の中から、十分な情報を持って比較評価したうえで、医療機関を選択できるべきと思いますか？
- 医療費の現状、問題を鑑みたときに、『かかりつけ医』登録・初診義務化について、賛成ですか、反対ですか？

### 健康増進・予防活動に注力する

- 医療費の現状、問題を鑑みたときに、健康管理・予防によって発生率を抑えられる疾患については、できるだけ多くの方が健康管理・予防に取り組むべきであると思いますか？

# 生活者の7割以上が、医療費の問題に危機感を感じている

「あなたは、日本が抱えている医療費の問題について、  
危機感を感じていますか？」

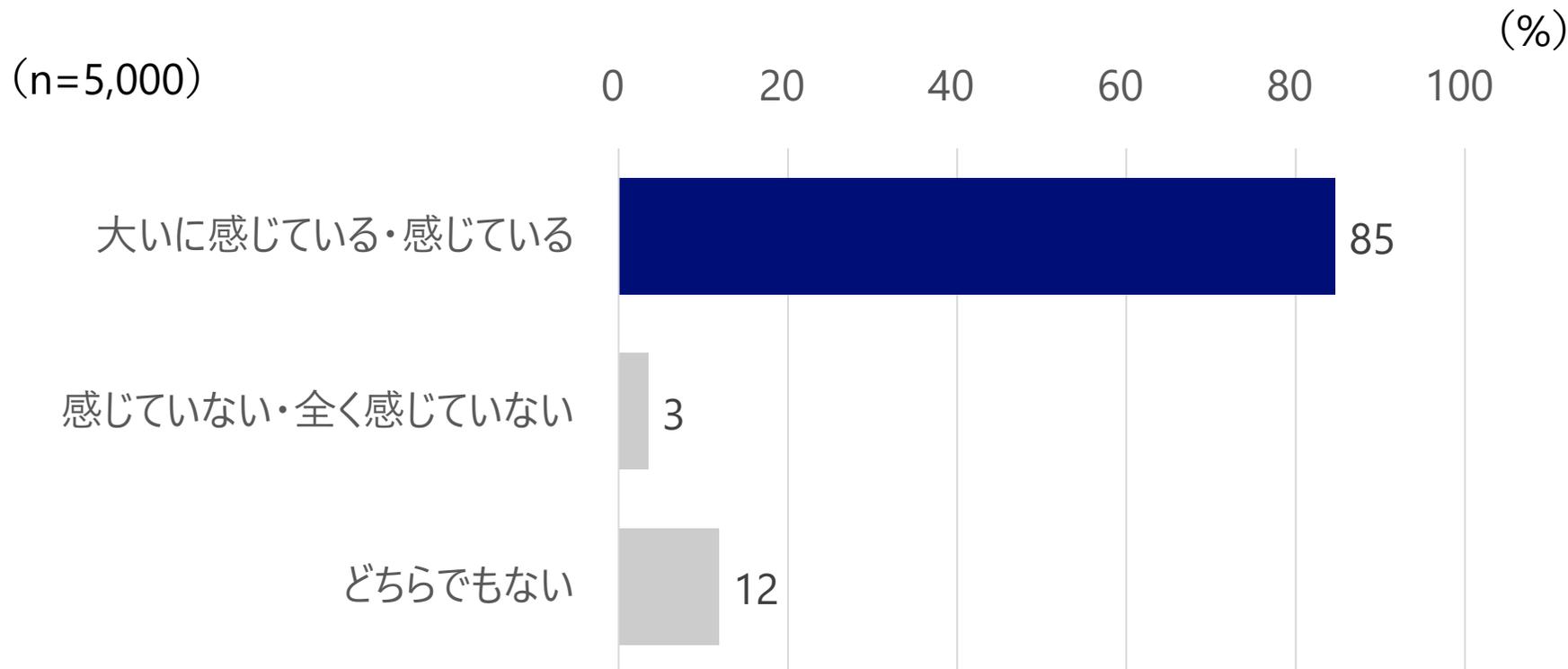


(回答者には、医療費の問題についてスライドで説明した後に、この設問を実施)

生活者アンケートから見る日本の医療課題

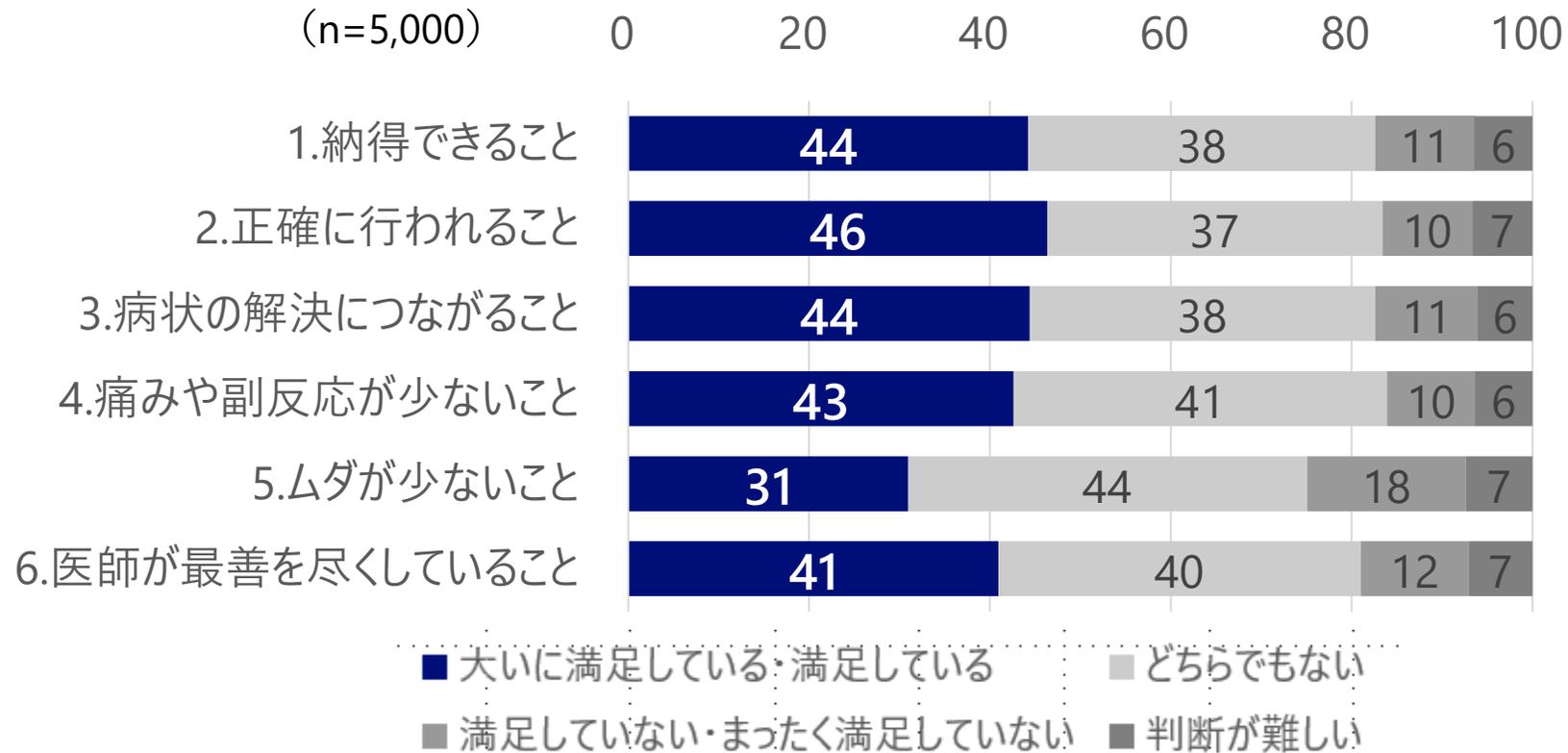
# 生活者の8割以上が、個人負担が増える前に、医療費の問題に早急に取り組むべきと考えている

「個人負担が1.5-2倍になる可能性を考えたとき、あなたは、  
日本が抱える医療費の問題について、早急に解決に取り組むべきと感じますか？」



# 生活者は、現在の診療の質に必ずしも満足しているわけではない 特に、ムダが少ないことに対する満足度が低い

「あなたは、これまで医療機関で医師から検査/診断、  
治療を受けてきた中で、『診療の質』に満足していますか？」 (%)



## 生活者アンケートから見る日本の医療課題

# 検査については、生活者の4割弱は、医療費の問題を鑑みても、 できる限り多くの検査を行いたいと考えている

「先ほど見たような医療費の現状、問題を鑑みたときに、今後のご自身の、医療機関における『検査』を受ける際の姿勢として、次のうち近いのはどちらですか？」

- A) いろいろな可能性を排除するために、可能ならば多くの検査を行っておきたいと考える
- B) かかる費用や時間を少なくするために、できるだけ必要かつ最低限の数の検査ですませたいと考える

(n=5,000) 0 20 40 60 80 100 (%)



大いにAである
  どちらかといえばAである
  どちらかといえばBである
  大いにBである
  判断が難しい

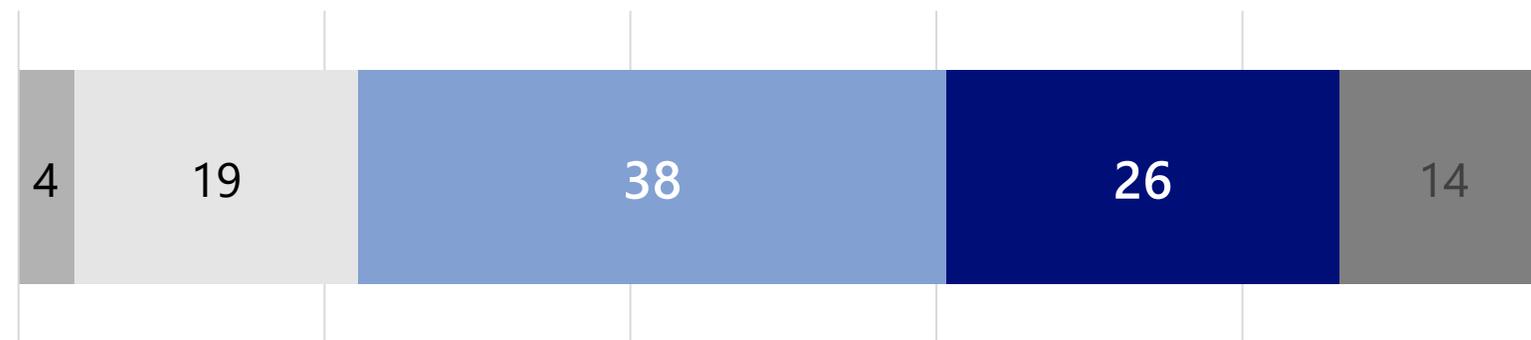
生活者アンケートから見る日本の医療課題

# 治療については、生活者の6割強が、医療費の問題を鑑み、効果が同程度ならば最新でない薬や機器で治療を受けても良いと考えている

「先ほど見たような医療費の現状、問題を鑑みたときに、今後のご自身の、医療機関における「治療」を受ける・決める際の姿勢として、次のうち近いのはどちらですか？」

- A) 効果が同程度であっても、できるだけ最新の薬や機器で治療を受けたいと考える
- B) 効果が同程度ならば、最新でない費用が安い薬（例：ジェネリック）や機器で治療を受けても良いと考える

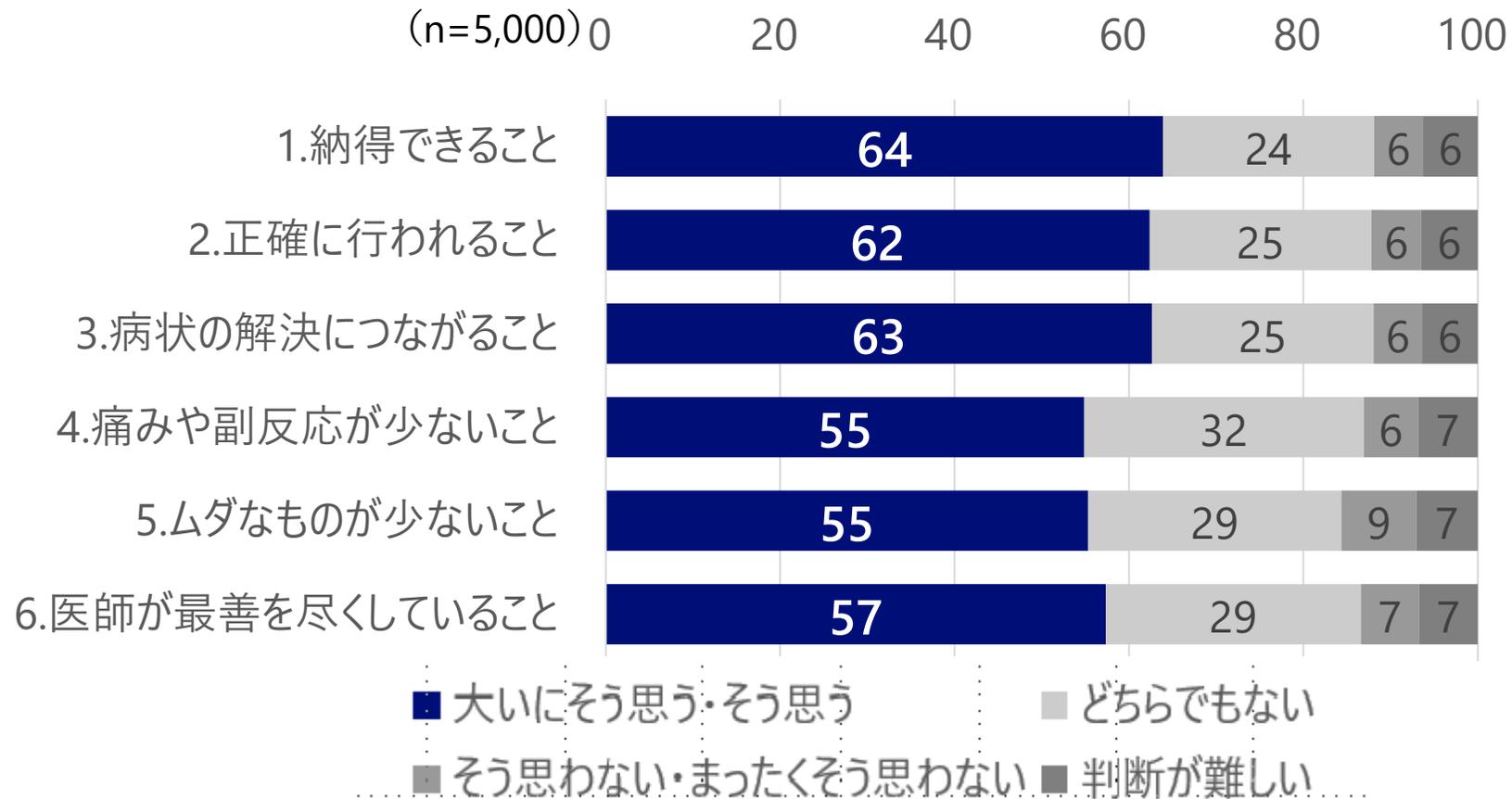
(n=5,000) 0 20 40 60 80 100 (%)



■ 大いにAである     
 ■ どちらかといえばAである     
 ■ どちらかといえばBである  
■ 大いにBである     
 ■ 判断が難しい

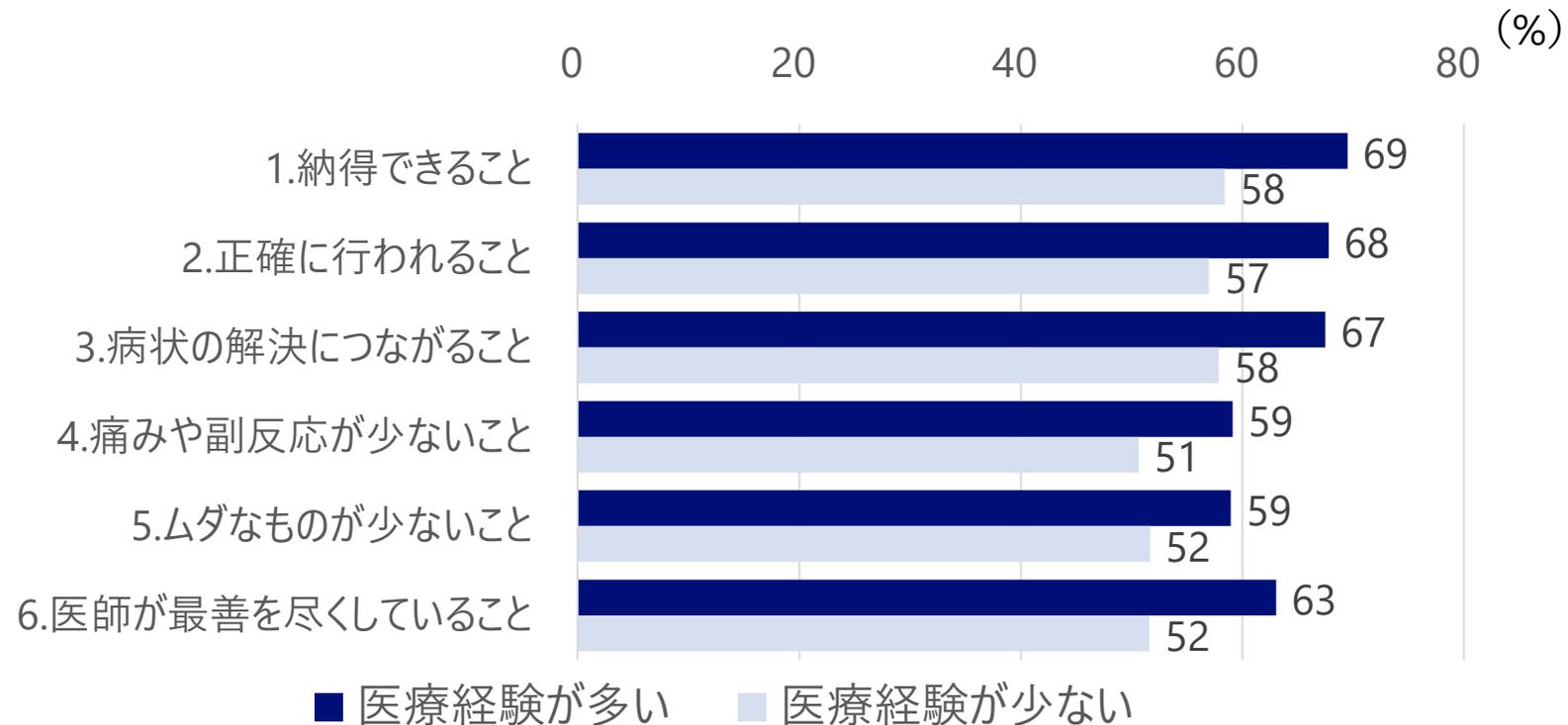
# 生活者の6割程度は、診療の質にばらつきがあると認識している

「同じ疾患について検査/診断、治療を受ける場合でも、  
医療機関や医師によって、診療の質にばらつきがあると思いますか？」 (%)



# 医療経験が多い生活者ほど、診療の質のばらつきを感じている

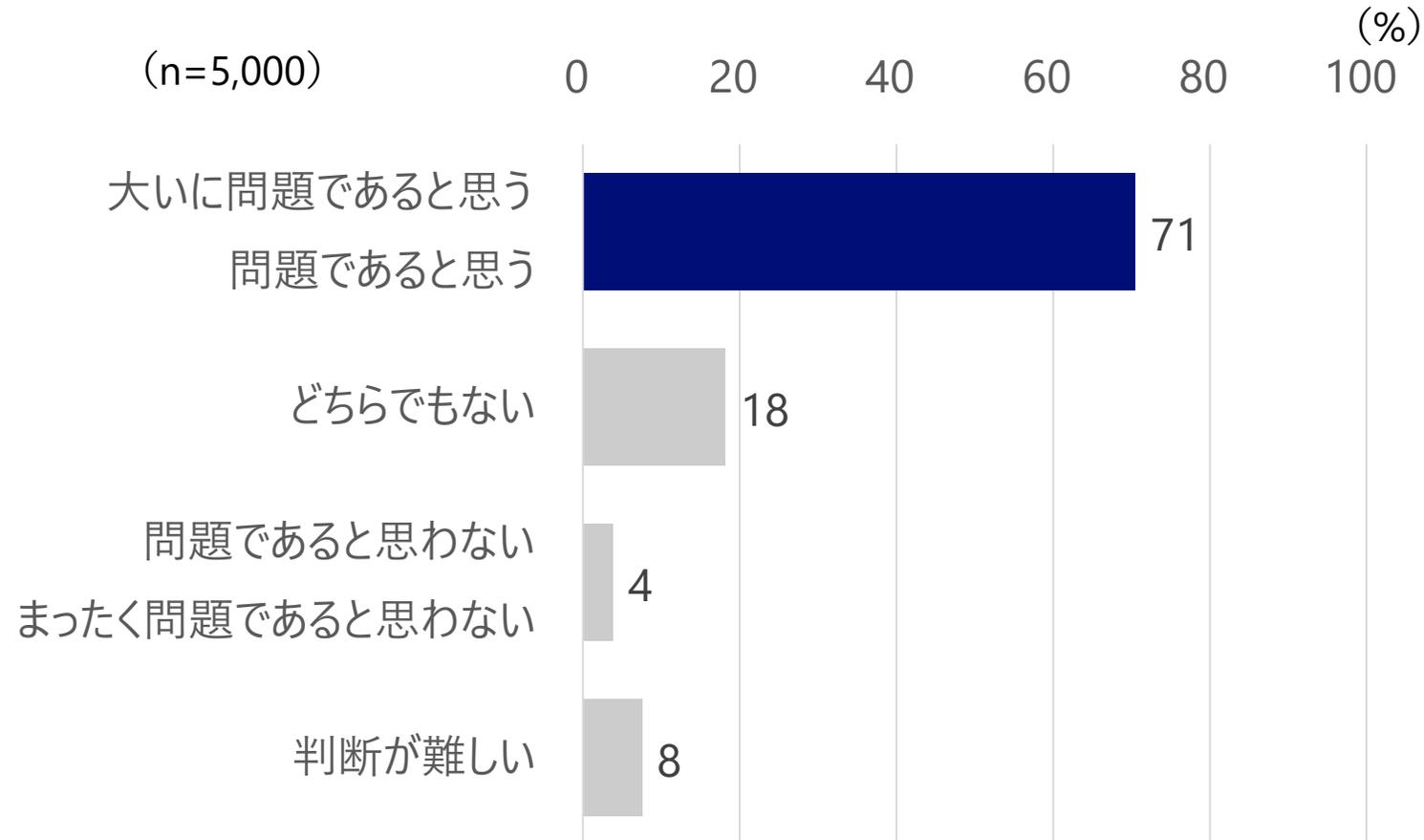
「同じ疾患について検査/診断、治療を受ける場合でも、  
医療機関や医師によって、診療の質にばらつきがあると思いますか？」  
大いに感じている・感じていると答えた人数の割合（医療経験の多さ別）



※医療経験が多い：慢性疾患にかかっている、自身や家族が手術を受けた経験がある

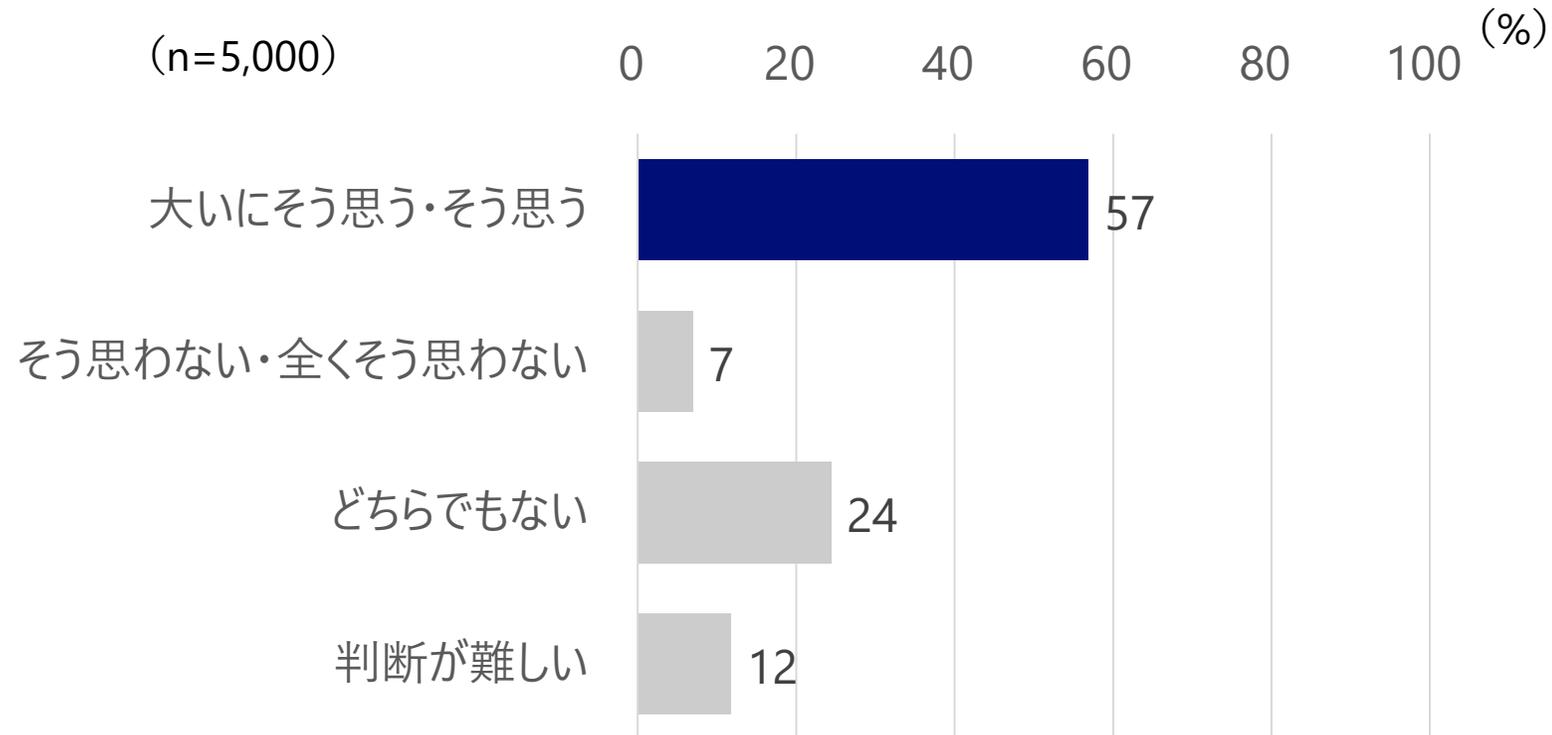
# 生活者の7割が、診療の質のばらつきが問題であると認識している

「あなたは、現在の日本の医療における  
『診療の質』のばらつき状況について、問題であると思いますか？」



# 生活者の過半が、診療の質に応じて、それに対する報酬を変えるべきと考えている

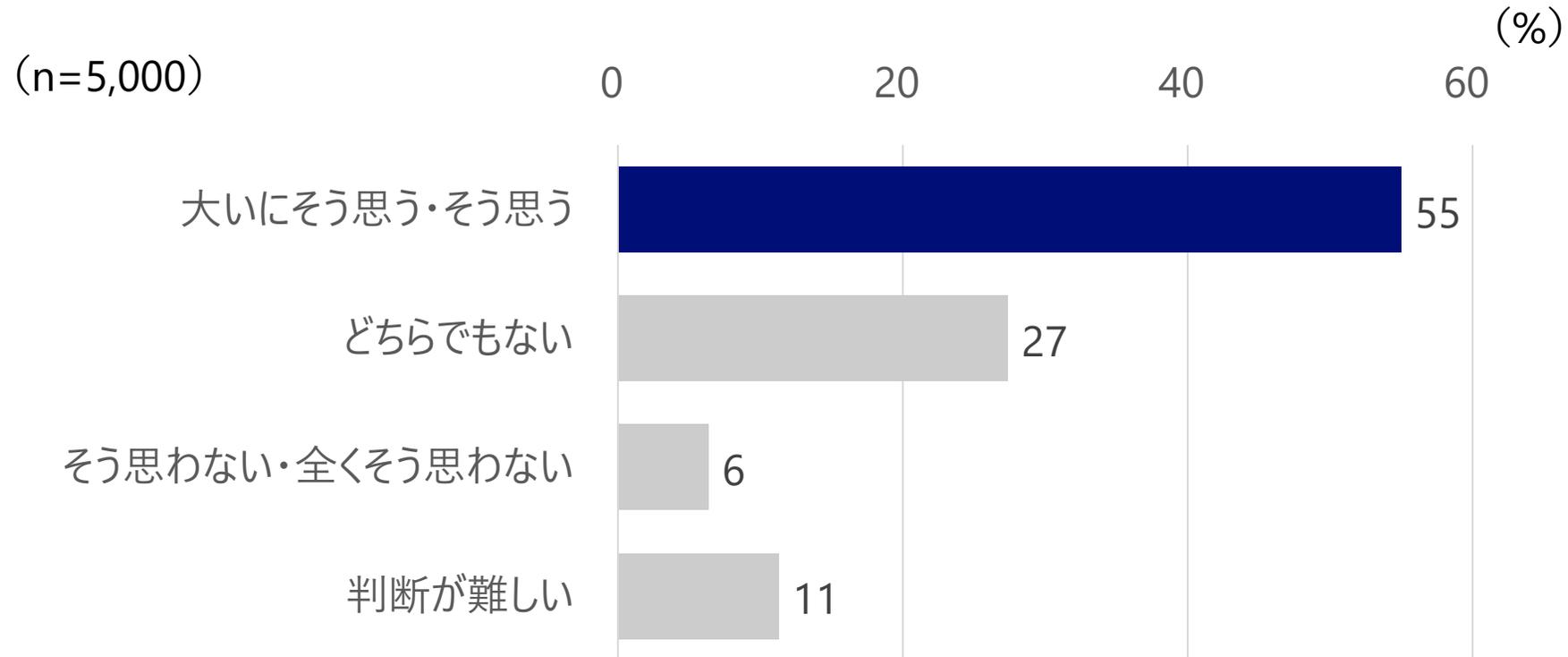
「診療の質にばらつきがある場合に、その診療を行った医療機関（医師）に対して支払われる診療報酬は、質に応じて変わるべき（質が高ければ高く、質が低ければ低くする）だと思いますか？」



## 生活者アンケートから見る日本の医療課題

# 生活者の半数強は、診療の質を高めるために、 患者がもっと医療に関与すべきであると考えている

「先ほど見たような医療費の現状、問題を鑑みたときに、あなたは、診療の質を高めるために、  
医師だけでなく患者もいまよりもっと医療に関与すべきであると思いますか？」



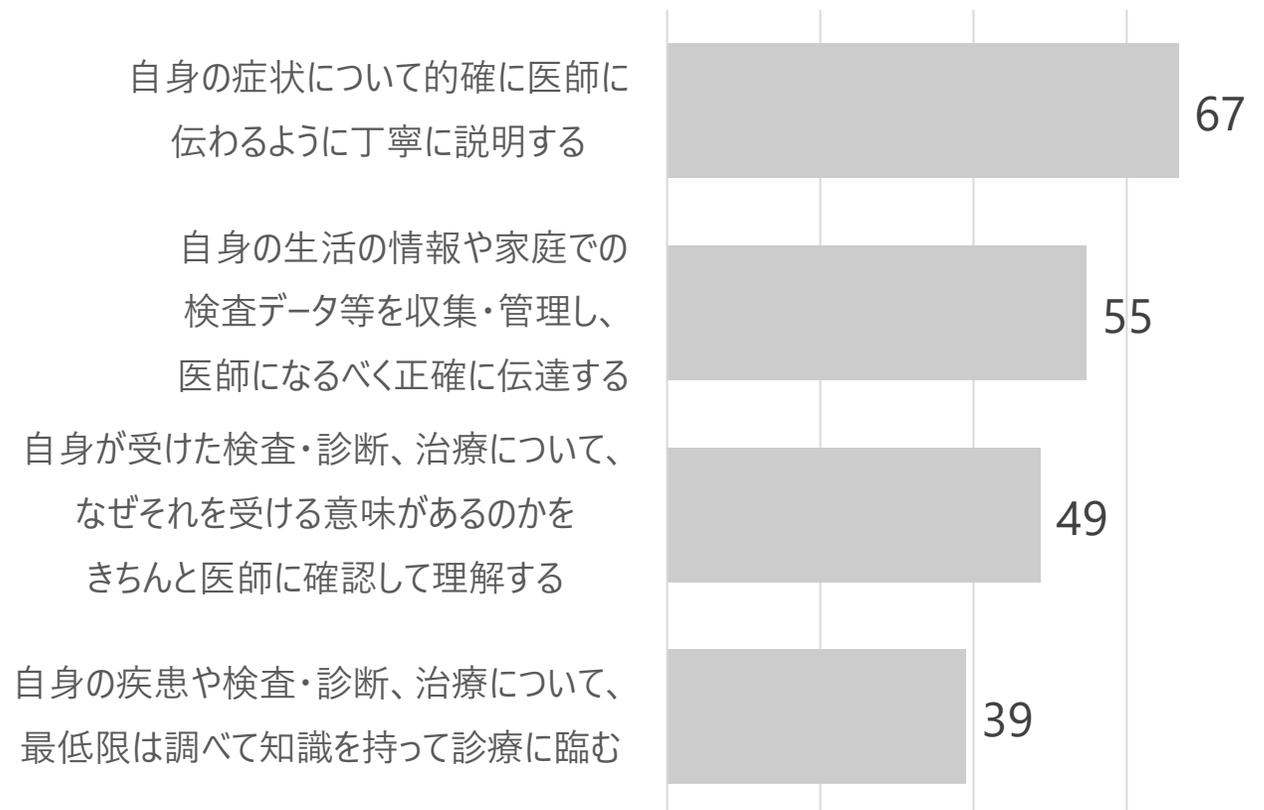
生活者アンケートから見る日本の医療課題

# 生活者の多くは、患者の医療への関与の仕方として、自身の状況や考え方、気持ちを医師にきちんと伝えることが大事だと考えている

「どのように、患者はいまよりももっと医療に対して関与すべきと思いますか？」（複数回答）

(n=2,704)

0 20 40 60 80 (%)



## 自由回答（カッコ内数字は回答数）

### 自分にとっての優先順位を明確にし医師に伝える（2）

- 「目先の対処療法を望むのか、長い戦略的な療養を望むのか、等」

### 自分の気持ちを伝える（2）

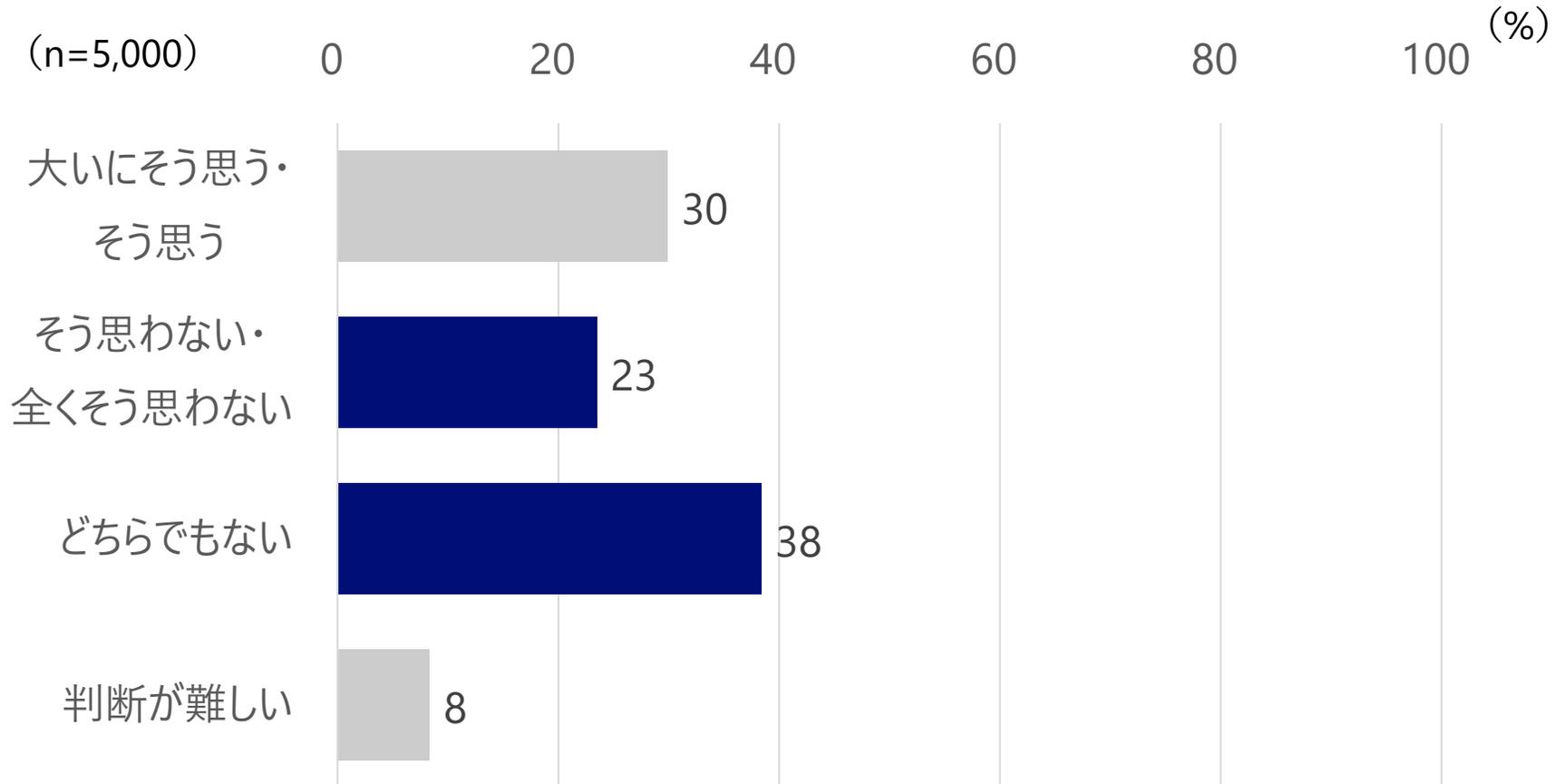
- 「実際に体調不良なのか精神的不安からくるものなのか、自分を知るべき」

### 無駄に受診しない、色々な医療機関に行かない（4）

- 「市販薬や自宅での養生で済むような軽い症状の場合、医療保険を使って診察へ行くべきではない」
- 「ただの不安感から余分な検査や治療を要求しない」

# 多くの生活者は、現状、医療へのアクセスが十分とは考えていない

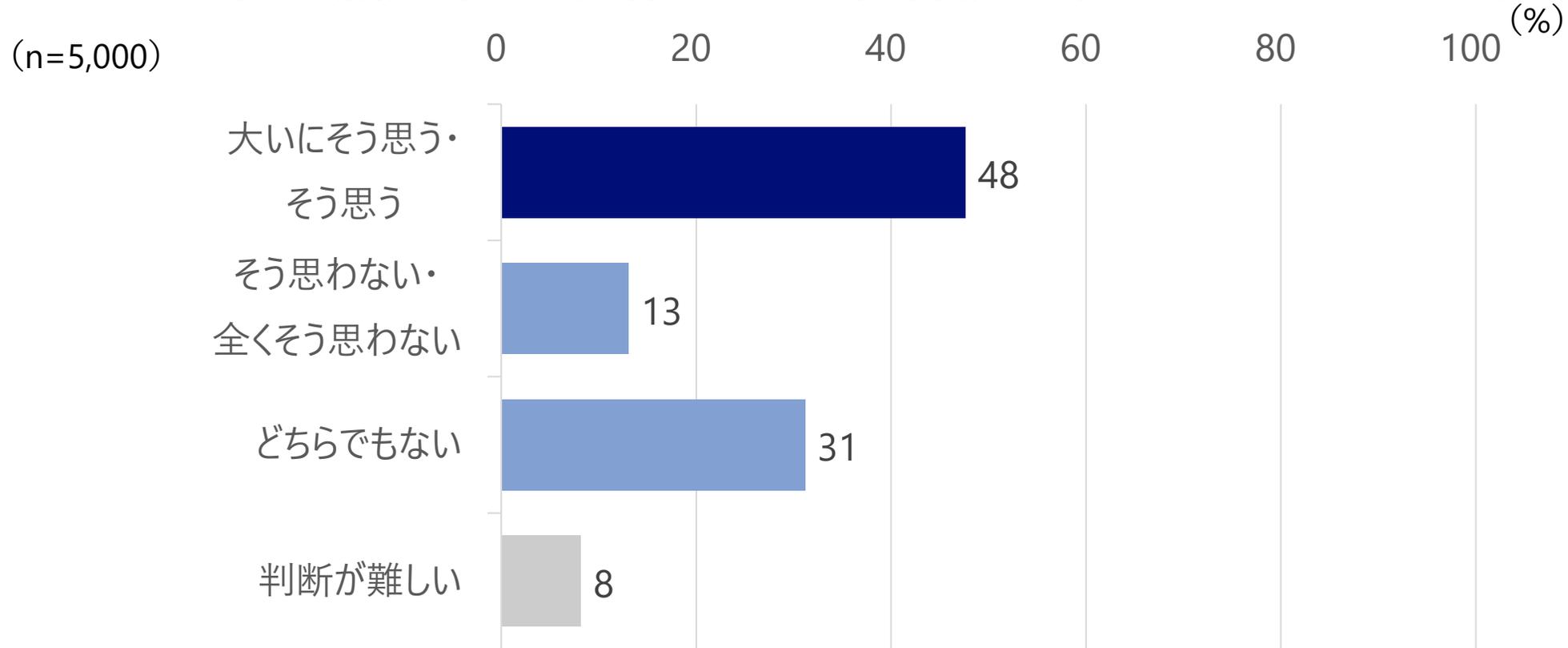
「あなたは、医療機関を受診しようとする際に、十分な選択肢の中から、十分な情報を持って比較評価したうえで、医療機関を選択できていると思いますか？」



生活者アンケートから見る日本の医療課題

# 生活者の半分弱は、十分な選択肢の中から医療機関を評価・選択できるべきと考えているが、そう考えていない生活者も同じ程度存在する

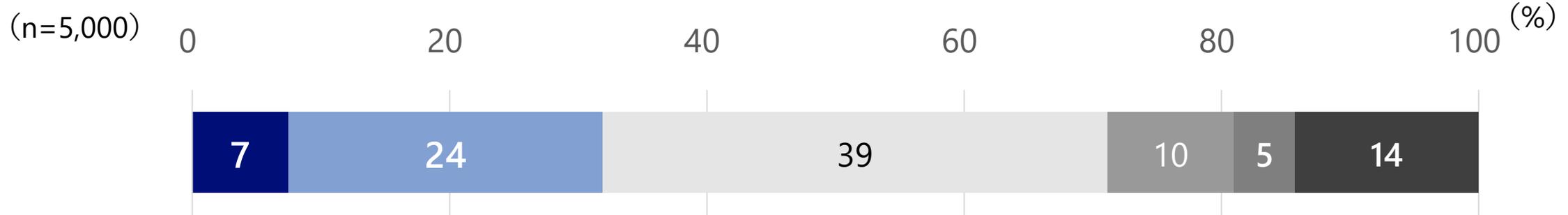
「あなたは、医療機関を受診しようとする際に、十分な選択肢の中から、十分な情報を持って比較評価したうえで、医療機関を選択できるべきと思いますか？」



生活者アンケートから見る日本の医療課題

# 「かかりつけ医」登録・初診義務化に賛成する生活者は現状3割程度。 4割の生活者は保留の態度である

「先ほど見たような医療費の現状、問題を鑑みたときに、  
あなたは、『かかりつけ医』登録・初診義務化について、賛成ですか、反対ですか？」

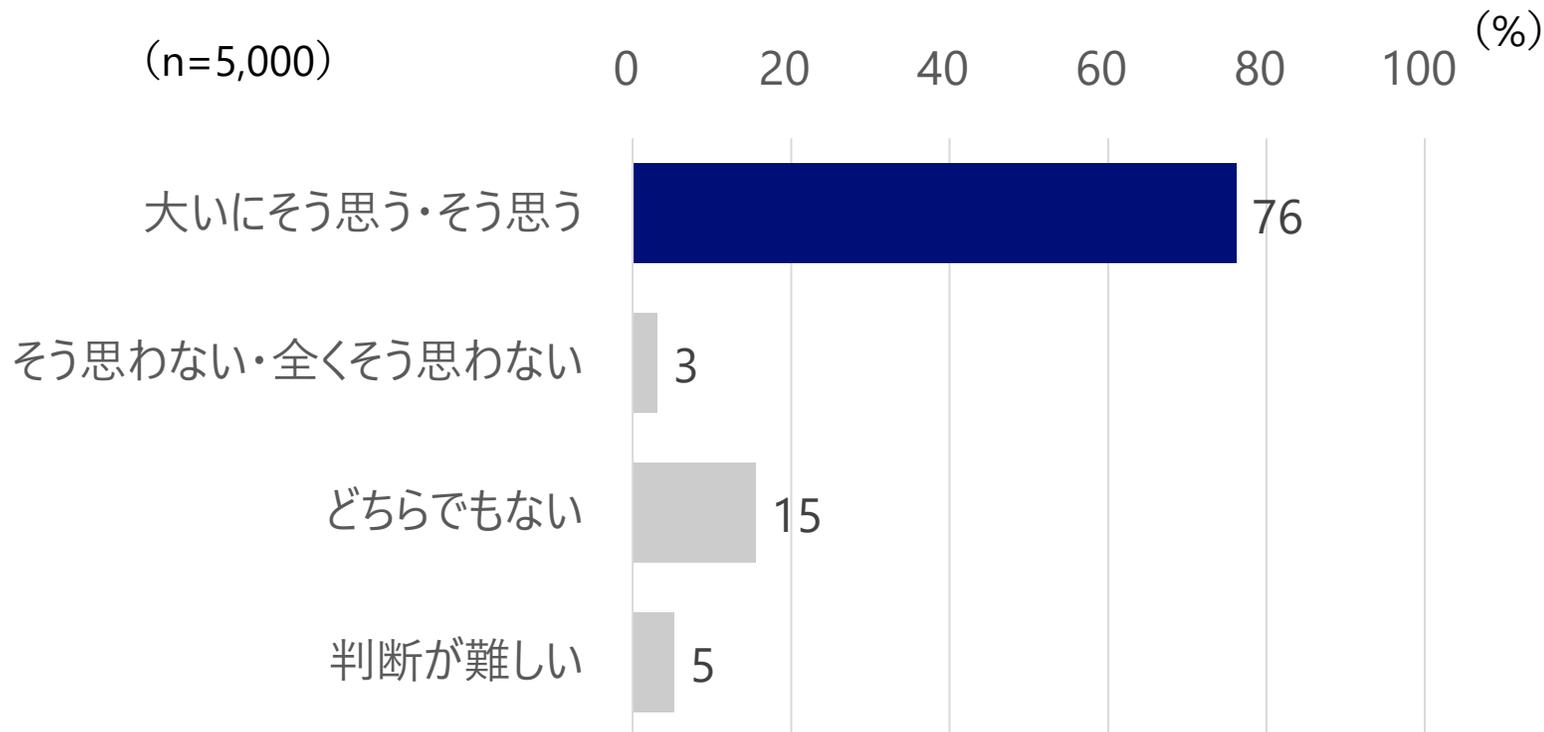


- まったく問題はないので、賛成である
- 多少の不便はあるだろうが、さほど大きな問題はないと思うので、どちらかといえば賛成である
- 良い点もあれば、問題もあると思うので、保留である
- 多少の問題があると思うので、どちらかといえば反対である
- 大きな問題があると考えるので、反対である
- 判断が難しい

生活者アンケートから見る日本の医療課題

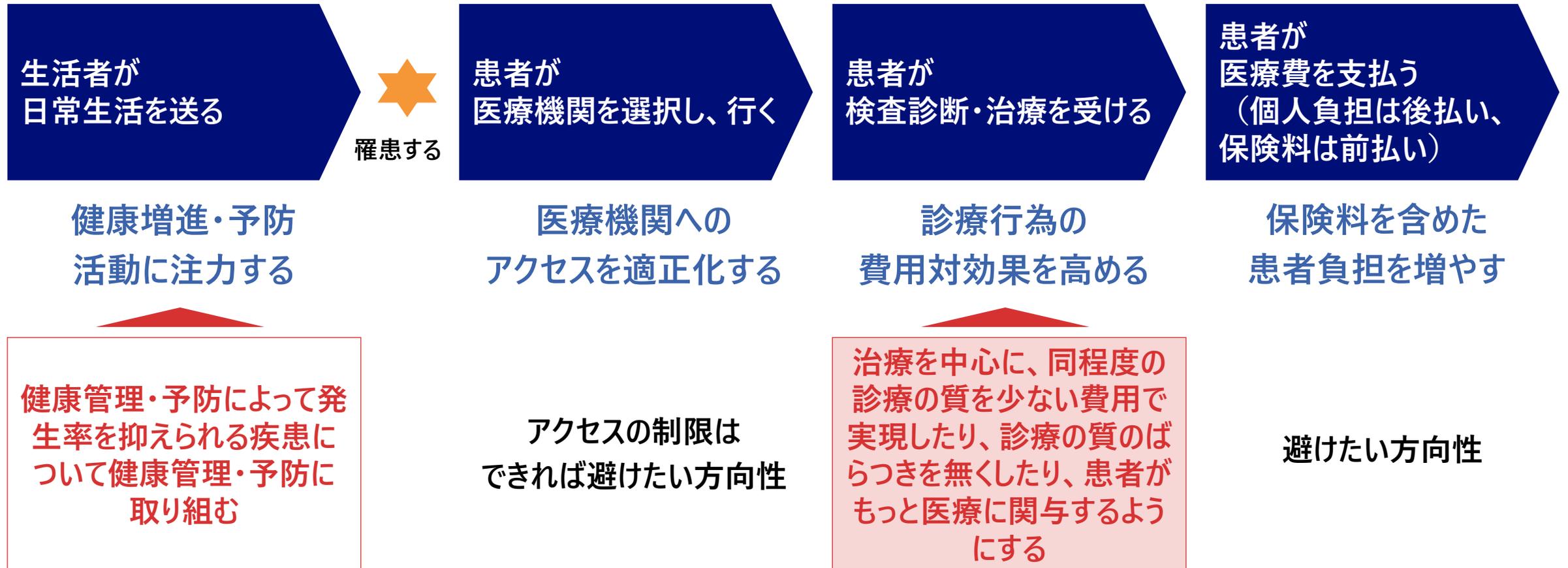
# 生活者の8割近くが、医療費の問題を鑑み、 できるだけ多くの方が健康管理・予防に取り組むべきと考えている

「先ほど見たような医療費の現状、問題を鑑みたときに、健康管理・予防によって発生率を抑えられる疾患については、できるだけ多くの方が健康管理・予防に取り組むべきだと思いますか？」



# アクセスを制限せずに、診療行為の費用対効果を高め、かつ健康増進・予防活動への注力を通じて、患者負担増を抑えるのが最善

## 医療費適正化に向けた課題設定



**01** 見通しの厳しさ

**02** 生活者アンケートから見る日本の医療課題

**03** 解決の方向性

**04** ステークホルダー協働による解決を目指して

クオリティとアクセスを維持・改善しながら  
コストの課題を解決することは容易ではない

しかし、海外には、これらをバランスよく  
改善することに成功している事例が存在する



疾患ごとの事例にみられる共通点から  
解決の方向性を検討する

# スマートフォンアプリで日常的な医療アクセスを向上し、 効率的な予防活動を実現。クオリティ改善・医療費節減を達成

生活習慣病患者向け デジタル指導プログラム (デンマーク)

<p><b>取組み内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 通院せず、スマートフォンアプリを用いて、特に問題のない間も、指導を継続</li> <li>- 指導員は、インターネット経由で患者データを活用</li> <li>- 自治体が推進。1年間、体重、HbA1c※の値を追跡</li> </ul>	
<p><b>生じた変化</b></p>	<p><b>クオリティ</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 肥満患者の<b>体重</b>：5%減</li> <li>- 糖尿病患者の<b>HbA1c</b>：低減</li> <li>- 患者自身もデータを観察しつづけ、<b>改善を実感</b></li> </ul>
	<p><b>コスト</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 医療費：<b>1人あたり2,300ドル減</b></li> </ul>
	<p><b>アクセス</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 指導員1人あたり<b>年間最大300名を指導</b></li> <li>- 個々人に指導員が着くことで、患者の安心感を醸成</li> </ul>



# ハイリスク患者の外来受診費を保険会社が償還。 クオリティを高めつつ患者支出・総医療費・償還費を効率化

循環器疾患ハイリスク患者の外来診療費への投資 (中国)

<p><b>取組み内容</b></p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>- ハイリスクの高血圧患者に対し保険会社が外来診療費を償還 (上限額あり)</li> <li>- 血圧、外来受診回数、入院頻度、合併症有病率を1年間追跡</li> <li>- 外来受診、入院に伴う患者の支出の増減を評価</li> </ul>
<p><b>生じた変化</b></p>	<p><b>クオリティ</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 拡張期血圧：有意に減少</li> <li>- 入院頻度：大幅減少 (0.075倍)</li> </ul>
	<p><b>コスト</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 入院患者支出：41%減少</li> <li>- 総医療費：28%減少</li> <li>→年間自己負担医療費と保険償還費：減少</li> </ul>
	<p><b>アクセス</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 平均外来受診回数：81%増加</li> </ul>

# 診断から術後まで包括ケアを提供することで、クオリティを高めつつ コストを効率化。患者の医療アクセスも向上

オストメイトの術後看護プログラム (スペイン) ※オストメイト=癌や事故などにより消化管や尿管を損失し、腹部などに排泄のための開口部を造設した人

<p><b>取組み内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>診断、術前、治療、術後の各時点</b>で、看護師がケア、情報提供、医療計画作成など</li> <li>- 6か月間、患者QOLを追跡し、患者が得た効用をQALYsで定量的に算出</li> <li>- 6か月間、ケアに対する患者の支払意思 (≒満足度) を追跡</li> </ul>	
<p><b>生じた変化</b></p>	<p><b>クオリティ</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- QOL、QALYs : 有意に<b>上昇</b></li> <li>※QOL : 心理状態、痛み、社会的不安、施術の受容、家族の状態などを追跡</li> <li>※QALYs=Quality-adjusted life years、質調整生存年。QOLに生存年を掛けて算出。</li> </ul>
	<p><b>コスト</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 1QALYsを得るためのコスト : 経済的とされる基準の<b>10分の1</b></li> </ul>
	<p><b>アクセス</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>混雑する専門医療の需要が減少</b> (救急病院での治療、専門医受診など)</li> <li>- 患者の支払意思 (≒満足度) : 診察費用の3倍まで許容</li> </ul>

# 手術前の在宅ケアの提供により、クオリティを高めつつ、入院日数ゼロを実現、治療コストを大幅に効率化

足首骨折患者の術前在宅ケアと日帰り手術ユニットケア (英国)

<p><b>取組み内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 病院において、従来の入院治療に代え、<b>手術前の在宅ケアを導入</b></li> <li>- 術後2年間にわたり、合併症発生率、計画外の再手術の発生率を測定</li> <li>- 入院患者の滞在期間の短縮度合い、患者の満足度を計測</li> </ul>	
<p><b>生じた変化</b></p>	<p><b>クオリティ</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>合併症・再入院なし</b></li> <li>- <b>患者満足度スコア向上</b></li> </ul>
	<p><b>コスト</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 病院の治療コスト <b>73%減</b></li> <li>- 病院の<b>利益 7.6倍</b></li> </ul> <p>※本手術の診療報酬は包括払いであり、コスト削減分が病院側の利益に反映される</p>
	<p><b>アクセス</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 入院せずに<b>日帰り手術が可能に</b></li> <li>- 入院期間 平均4.9日→0日</li> </ul>

# これらの事例に共通するのは、医学的介入の幅を予防・予後まで広げ、治療内容ではなくアウトカムで評価し、患者も評価に加わっていること

	医学的介入の幅	医療の価値の評価方法	医療の価値の評価者
従来	医療機関内で提供される治療内容が中心	提供された治療内容	医療従事者
先進事例	予防、予後への介入	未病、予後のアウトカム	患者も関与
①生活習慣病デジタル指導プログラム	無症状段階から指導	検査値	医療従事者 + 患者
②循環器患者外来受診支援	ハイリスク者のうち未受診者にアプローチ	検査値、入院頻度	
③オストメイト看護プログラム	診断～術後を包括ケア	QOL、QALYs、患者満足度	
④骨折患者術前在宅ケア	入院前（在宅）からケア	合併症・再入院の有無、入院期間、患者満足度	

# “バリューベース・ヘルスケア” Value-Based Healthcare

限られた医療資源を最適に配分するために、医療のアウトカムに着目するという考え方

予防、予後への介入  
により治療を軽減する  
価値を発揮

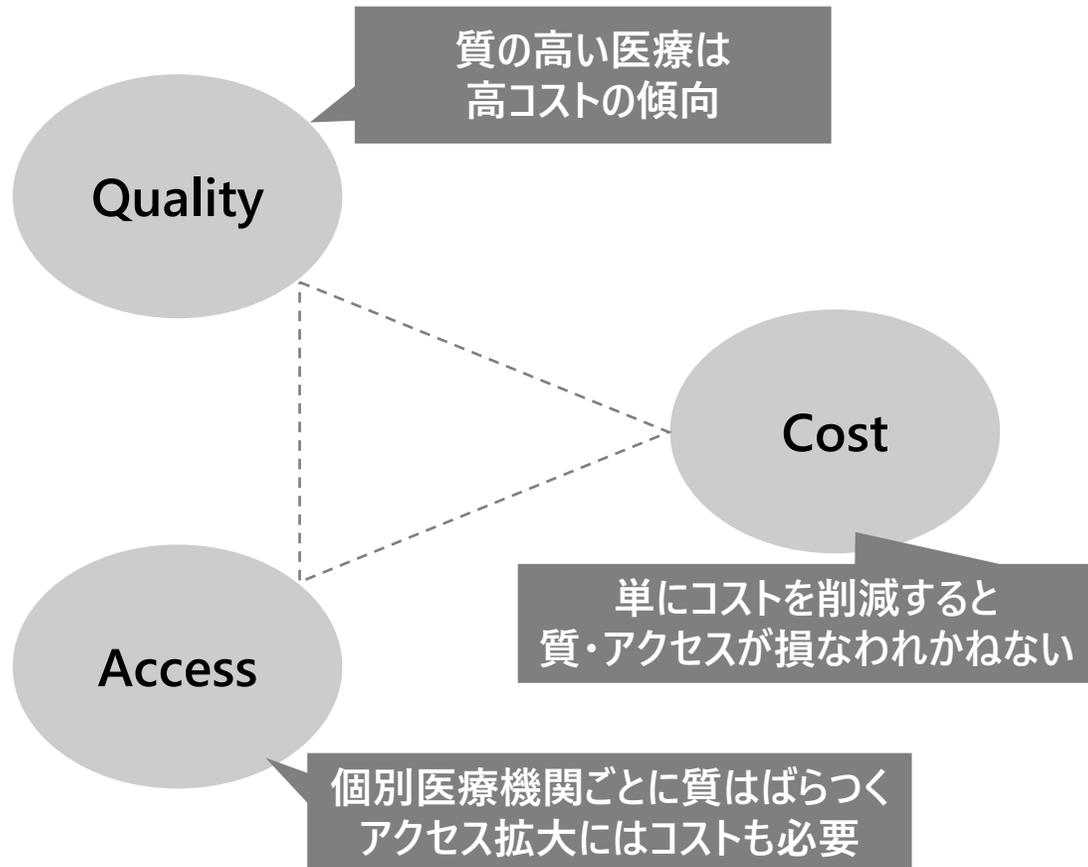
未病、予後も含めた  
アウトカムを評価

価値の評価に  
患者も関与

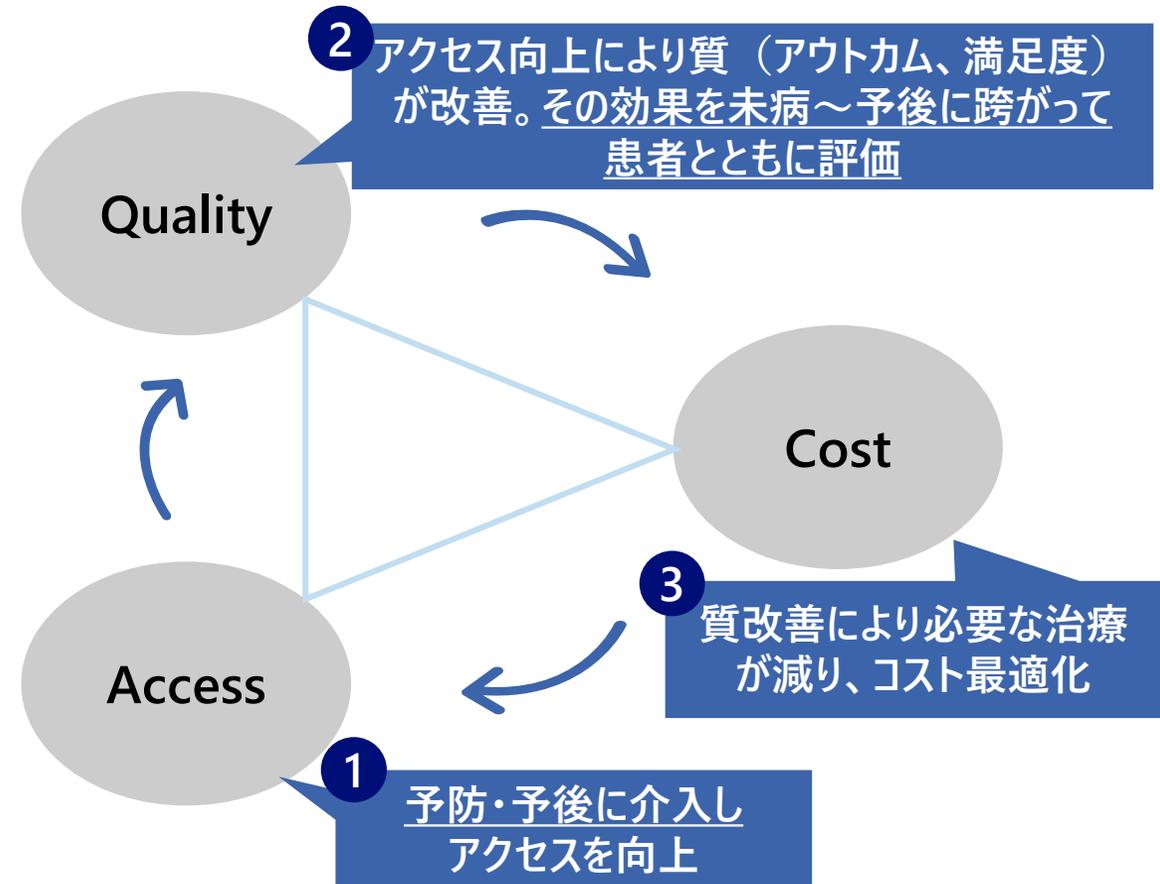
## 解決の方向性

# バリューベース・ヘルスケアの三要素を実践することで、コスト、クオリティ、アクセスをバランスよく維持・改善できるのではないか

従来



バリューベース・ヘルスケアを導入した場合



01 見通しの厳しさ

02 生活者アンケートから見る日本の医療課題

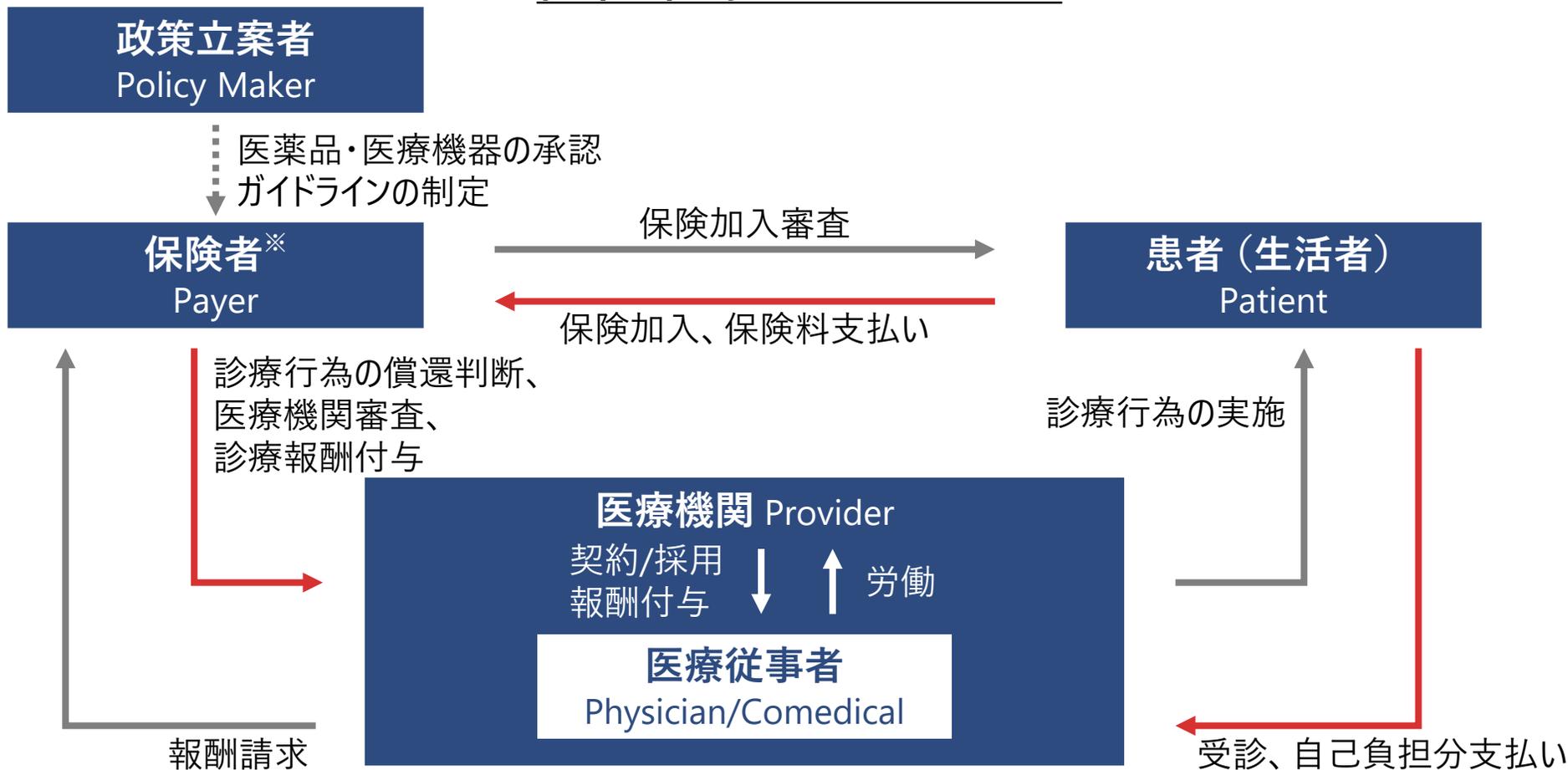
03 解決の方向性

04 ステークホルダー協働による解決を目指して

ステークホルダー協働による解決を目指して

# 医療は、5つのステークホルダーの相互作用により実現している

## 従来の医療のステークホルダー



※保険者：医療保険事業の運営主体を指す。日本の場合、国民健康保険組合や企業が設立した健康保険組合などが例として挙げられる

ステークホルダー協働による解決を目指して

# バリューベース・ヘルスケアは、ステークホルダーの行動変容を引き起こす

## バリューベース・ヘルスケアの導入で期待される行動変容

バリューベース・ヘルスケア ステークホルダー	予防、予後への介入により 治療を軽減する価値を発揮	未病、予後も含めた アウトカムを評価	価値の評価に 患者も関与
政策立案者 Policy Maker	予防活動にも何らかのコントロールを 効かせる	効果を安定して創出できるかどうか にも注目して承認審査をする	患者視点も入れてガイドラインを策定 する
保険者 Payer	加入者が積極的に予防活動を実施 するように保険内容を設計する	実際の効果も評価して診療報酬を 算定する	効果を患者視点にも広げて診療報酬 を決める
医療機関 Provider	予防活動を支援できる医療従事者 を採用する	実際の効果に応じて医療従事者の 報酬を決める	患者視点での効果を最大化すべく、 医療従事者の体制を構築する
医療従事者 Physician/Comedical	予防活動を支援できる医療従事者 が登場する	実際の効果を高く創出すべく、 トレーニング・教育を（より一層）受ける	患者視点の効果を高めるための トレーニング・教育を受ける
患者（生活者） Patient	積極的に予防活動を実施する	実際の効果を高く創出すべく医療に もっと関与する	患者満足度の高い医療機関を受診 する

ステークホルダー協働による解決を目指して

おわりに

**バリューベース・ヘルスケアの三要素を実践することで、  
診療の質、アクセス、費用の適正化を期待できる**

**日本の医療の悲観的な未来に対する解決策の  
具体化にむけて、さらなる調査研究と情報発信を行う**

The text is framed by two decorative swooshes. The top swoosh is a gradient bar transitioning from blue on the left to red on the right. The bottom swoosh is a solid blue bar.

***Share the Next Values!***